

南島原市シルバー人材センター によるボランティア清掃実施



市シルバー人材センターは、10月15日・16日をボランティアの日と位置づけ、市内の公園、公共施設や学校周辺の道路などの除草やごみ拾いを実施しました。今回は128人の参加による清掃活動で、市内11カ所がきれいになりました。

参加した皆さん、ありがとうございました。

100歳おめでとうございます ～ いつまでもお元気で ～

宮崎トヨコさん(布津町)
明治44年10月28日生まれ



小玉セツ子さん(口之津町)
明治44年11月2日生まれ



永谷友一さん(深江町)
明治44年11月15日生まれ



お勤めの食べ方は
塩焼き。こだわりの
活きた状態でお届け
することだそうです。
お歳暮の贈答用や
正月用として、地元
の活車エビを購入し
てみませんか。

11月4日に市役所で、深江町漁協組合長らが市長議長に特産品「活車エビ」を贈呈しました。同組合では車エビの養殖が昭和53年から行って、今シーズンは19トンの生産量を見込んでいます。

こだわりの活きた状態でお届け ～ 活車エビ贈呈式 11月4日 ～



これは農大生が
実際に農家宅で暮
らし、農家生活を
通して農業や流通
の技術や地域との
交流を学ぶために
毎年行われている
ものです。
農大生は、終了
式で貴重な体験談
と感謝の言葉を受
け入れ農家に伝え
ました。

9月27日から10月28日までの1カ月間、県農大生(2年生)の6人が市内の農家宅で研修を行いました。

農大生理想の農家を目指して ～ 農大生研修 9月27日から10月28日 ～



これは、3月の東日本大震災で自治会などの「地域力」が見直されたことがきっかけ。組織の必要性やあり方などについて協議を重ねてきました。
今後、市は連合組織創設に向けて取り組み予定です。

今年8月に設置した「南島原市自治会連合組織創設検討委員会」は、市長に報告書を提出しました。報告書は「市単位の自治会連合組織の創設は、自治会相互の連絡や融和親睦のために必要であり、また、市民の要望などを市政に反映させるためにも必要である」という内容でした。

南島原市自治会連合組織創設検討 委員会が市長に報告書を提出



①歌手ジェロさんによる生ライブ
②生ライブの会場には、市内外から多くの来場がありました ③約4mのみそ五郎が会場内をパレード ④今回初めて実施されたみそ五郎チビッコ綱引き大会 ⑤市特産の手延そうめんの無料試食



まちの話題 Minami Shimabara City My Town Topics

多彩なイベントでにぎわう ～ みそ五郎まつり 11月5・6日 ～

11月5、6日の2日間にわたって、第30回みそ五郎まつりが西有家町須川商店街一帯で実施されました。
両日ともあいにくの雨でしたが、商店街には露店が立ち並び、多数の来場者でにぎわいました。
また、よさこい踊り、みそ五郎パレードやみそ五郎チビッコ綱引き大会など、多彩なイベントも開催されました。
みそ五郎の夕べでは、演歌歌手ジェロさんの生ライブが行われました。会場には市内外から多くのファンが詰め掛け、ジェロさんの歌声に酔いしれていました。



多額の寄附でふるさと福祉号(軽自動車)16台を購入



田代 則春氏
(東京在住 島原市出身)

「南島原市が元気になるほしい」との願いを込めて(1,680万円寄附)平成21年12月に、島鉄南線の廃止を憂う同氏が、公共交通環境の改善を願い寄附されたものです。過疎化の進む南島原市にとって、高齢者や障害者の移動手段の確保のために活用させていただきました。

込みが34法人からあったため、9月27日には法人自らによる抽選の結果、16法人を決定しました。
この取り組みで、福祉サービスを利用する際の送迎サービスの向上が図られました。



11月2日に、市は有家庁舎でふるさと福祉号贈呈式を実施しました。
これは一昨年、弁護士の田代則春氏(島原市出身)からいただいたふるさと応援寄附を活用したものです。市は寄附で「ふるさと福祉号(軽自動車)」を購入し、市内16法人に寄贈する運びとなりました。なお、申し込みが34法人からあったため、9月27日には法人自らによる抽選の結果、16法人を決定しました。

田代則春氏からの寄附を活用し 軽自動車を16法人に贈呈 ～ ふるさと福祉号贈呈式 11月2日 ～